



新座中だより

令和3年度1月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

強い心を育てる

校長 高橋 利明

新年明けまして おめでとうございます。それぞれの想いで令和4年を迎えられたことと思います。3年生のご家庭では、「本当のおめでとうは3月です」ということであろうかと思いますが、新年を健やかに迎えられましたことを、まずは共に喜びたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

さて、3年生にとっては進路決定の季節となりました。1月中旬の県内私立高校受験に始まり、都内私立高校受験、さらに県公立高校受験と、心休まることのない日々が続きます。また、受験（受検）ともなれば、その結果は全ての生徒にとって、うれしい結果とはならない場合もあります。第2希望もあれば第3希望に進学しなければならない場合もあります。それを失敗ととらえるかどうかは、本人の気持ち次第です。私たちの生活において、すべてが思い通りにいくことは難しいことだからです。

しかし、人間は常に強くなりたい、勝ちたいという前向きな本能を持っています。一生懸命練習をしたり、勉強をしたりするのはそのためです。反面、様々なことから自分を守ろうとする本能も併せて持ってい

ます。これらは、失敗に言い訳をして正当化しようとしたり、友だちのちょっとした発言や悪口などに対して過剰な反応をしたりすることです。もちろん自分を守る防衛本能は大切なのですが、過剰に反応することが俗に言う「キレる」という言葉なのではないかと思います。

試合で負かされた相手を認め、尊敬する心を持つためには、広い心が必要ですが、その心は負ける悔しさを味わい、その悔しさを克服することから育ちます。勝った時には、その喜びから新たな意欲が生まれますが、負けた時には、黙ってぐっところえる強さを身に付けることができるのです。

親として、教員として、生徒たちが失敗したり、負けたりして悔しがる姿を見ることは、とても辛いものです。しかし、勝ったり負けたり繰り返してこそ自分と向き合い、友だちを大切に、簡単にキレたりしない強い心を育てていくと信じ、時には励ましの声をかけながら寄り添い、そっと見守りながら、自ら立ち上がり、正々堂々と生きていこうとする、生徒たちの強い心をこれからも根気強く育てていきたいと思っています。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」